



西方文化

にし しか た ぶん か

小倉堰と日光連山

第 17 号

〈西方文化祭特集号〉

発行 日 令和 7 年 3 月 10 日

発行 所 栃木市西方文化協会

編集委員長 荒 川 里 子

印刷 所 (有)正栄社印刷所

き、元気づけられました。最後の演奏曲となった「聖者の行進」では、手拍子のおこる中、演奏にも力が入り、曲名にふさわしい演奏ができたのではないかと思います。そして、会場の皆様と一体となった演奏の楽しさを感じ取れた発表会でした。ありがとうございました。

私達は、ハーモニカを通して音楽を楽しむと共に、聴いて下さる皆様にも楽しんでいただける様な演奏を目標に、活動している仲間です。

ハーモニカは、腹式呼吸で吹くため、脳を活性化し、健康効果にも優れた、高齢者の私達を後押ししてくれる最良の楽器の一つではないでしょうか。

私達は、この魅力ある楽器と出合い、荒川先生のご指導の下、月二回の練習に励んでいます。

正確な音、音符の拍数、リズム等の演奏に必要な基本的なアドバイスを受け、曲目に応じた演奏会に取り組んでいます。物覚えの悪い私達です。特に発表会に向けての曲目には、時間をかけ繰り返し練習する事で、自信を持って臨める様、頑張っています。

今回のチャリティーコンサートでは、指揮者不在での発表会となりました。不安も重なり、出だしや繰り返しでそろわない所もありましたが、荒川先生の臨機応変な指揮と共に会場の皆様からの温かい拍手を頂

★第十三回栃木市西方文化祭

十一月二十三日(土)～二十四日(日)

今年初の試みとして、業者ではなく、当協会会員とボランティアで準備から片付けまでを行った。西方の地域力は、今後の西方文化継承に大きな希望となる大変意義深い西方文化祭となった。

★作品展示部門

十一月二十三日(土)～二十四日(日)

関東ホーチキにしかた体育館ロビーにはフォトクラブ・ハンドメイド・墨彩会、西方城、そして、奥では実演コーナーとして和装姿の茶道部と若菜会により抹茶がふるまわれる心落ち着く一時を味わった。

二階研修室には小・中学校の習字・絵画の見事な作品が並び来場者を感じさせていた。今後も地域で子供た

令和六年四月十八日、第四十七回栃木市西方文化協会総会を西方地域づくり推進課長 安達博美様並びに西方公民館長 佐柄忠浩様のご出席を頂き開催。

新型コロナウイルスによる制限がなくなり文化活動に活気を取り戻し意欲と希望の令和六年度のスタートとなった。



巻頭言

西方文化協会会長 荒川 里子

令和六年四月十八日、第四十七回栃木市西方文化協会総会を西方地域づくり推進課長 安達博美様並びに西方公民館長 佐柄忠浩様のご出席を頂き開催。

ちの成長を応援する意味で継続したいと想います。二十四日(日) 囲碁部と墨彩会による焼絵の体験コーナーがあり、親子で楽しむ光景に微笑ましく感じた。

★ステージ部門

(発表) 十一月二十三日(土)

オープニングは本年吹奏楽コンクールにおいて銀賞に輝いた西方中ブラスバンド部が手拍子をさそう軽快なリズム「プリキユア」の曲を演奏。会場からはおしみのない拍手が贈られた。

続いて、コーラス・フラダンス・琴・オカリナ・ハーモニカ・フォークダンス・和太鼓と次々に発表され観客を魅了した。また今年度、国の史跡に指定された西方城についてのお話もあった。出演者にとっても発表が出来た充実感で一人ひとりの顔が輝いて見えた。

これらの経験が更なる技術向上につながる大変貴重な場となった。

★今回最大の注目企画

「お楽しみ抽選会」を開催。「さあ！抽選会のはじまり〜」みなさんワクワク！ ドキドキ！ 大きなスクリーンに番号が映し出されると歓声が会場で響き渡り大いにも盛り上がった一時でした。

最後は「ソング&ソング絆」と一緒に歌おうでは、なごやかな雰囲気の中会場全体が一つとなり、感動の絆づくりのステージとなった。

出場し、上位に入賞できるほど上達されました。しかし、その後、部員の高齢化が進み、会を維持していくことが困難になってきました。

最近になって、コロナの流行により、栃木市以外の方々の参加ができなくなり、市内だけの交流となってしまういました。参加できる人数も少なくなり、継続がむずかしくなってきました。

本年度も囲碁は西方文化祭に参加いたしました。様々な都合で参加者は少数でしたが、体育館での碁会には集中してできたこと、楽しい一日でした。

カッパーコールと聞いて、「ああ、西方町の男声合唱団だね」と、即思い浮かべてくれる人は、いったい何人ぐらいいるでしょう。せめて、「そういうえば、西方の文化祭でおもしろい話をしながら歌っていたおじさんたちが確かそんな名前だったわね」

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ



カッパーコール

カッパーコールと聞いて、「ああ、西方町の男声合唱団だね」と、即思い浮かべてくれる人は、いったい何人ぐらいいるでしょう。せめて、「そういうえば、西方の文化祭でおもしろい話をしながら歌っていたおじさんたちが確かそんな名前だったわね」

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ

※十一月二十三日(土)～二十四日(日) 来場者数(延べ人数) 五百十四名	
今年度の文化協会役員	
〔本部役員〕	
会長	荒川 里子
副会長	早乙女寿夫
副会長	和賀井公子
監事	神永 晴美
監事	溝江 純子
監事	福田くみ子
事務局	中村 良一
庶務	山中登喜子
会 計	金子 一男
〔理事・各専門部〕(五十音順)	
理 事	荒川 里子
〃	大森 明
〃	(カッパーコール) 田嶋 亘
〃	(Greenぐらす) 神永 晴美
〃	(ぐりふら) 神永 晴美
〃	(茶道) 樽見美智子
〃	(ソング&ソング絆) 荒川 里子
〃	(西方オカリナクラブ) 和賀井公子
〃	(にしかた等の会) 荒川 里子
〃	(西方ふるさと太鼓) 荒川 里子
〃	(西方フォーカシングの会) 渡辺 勝子
〃	(ハンドメイド) 山中登喜子
〃	(フォトクラブ) 早乙女寿夫
〃	(墨彩会) 中村 良一
〃	(若菜会) 若林 きく

専門部活動紹介

アルモニカ・ハーモニー

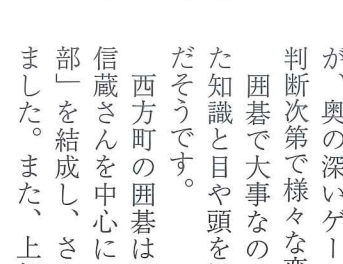
私達は、ハーモニカを通して音楽を楽しむと共に、聴いて下さる皆様にも楽しんでいただける様な演奏を目標に、活動している仲間です。

ハーモニカは、腹式呼吸で吹くため、脳を活性化し、健康効果にも優れた、高齢者の私達を後押ししてくれる最良の楽器の一つではないでしょうか。

私達は、この魅力ある楽器と出合い、荒川先生のご指導の下、月二回の練習に励んでいます。

正確な音、音符の拍数、リズム等の演奏に必要な基本的なアドバイスを受け、曲目に応じた演奏会に取り組んでいます。物覚えの悪い私達です。特に発表会に向けての曲目には、時間をかけ繰り返し練習する事で、自信を持って臨める様、頑張っています。

今回のチャリティーコンサートでは、指揮者不在での発表会となりました。不安も重なり、出だしや繰り返しでそろわない所もありましたが、荒川先生の臨機応変な指揮と共に会場の皆様からの温かい拍手を頂

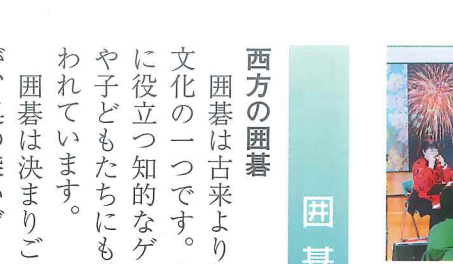


西方の囲碁

碁は古来より続いている日本の文化の一つです。また、脳の活性化に役立つ知的なゲームとして高齢者や子どもたちにも愛好者が多いといわれています。

碁は決まりごととは少ないのですが、奥の深いゲームで自分や相手の判断次第で様々な変化が生まれます。囲碁で大事なものは「レベルに応じた知識と目や頭を慣れさせる」ことだそうです。

西方町の碁は戦後、金崎の森下信蔵さんを中心に「日本棋院西方支部」を結成し、さかんに碁が打たれました。また、上都賀支部の大会も



囲碁部

碁は古来より続いている日本の文化の一つです。また、脳の活性化に役立つ知的なゲームとして高齢者や子どもたちにも愛好者が多いといわれています。

碁は決まりごととは少ないのですが、奥の深いゲームで自分や相手の判断次第で様々な変化が生まれます。囲碁で大事なものは「レベルに応じた知識と目や頭を慣れさせる」ことだそうです。

西方町の碁は戦後、金崎の森下信蔵さんを中心に「日本棋院西方支部」を結成し、さかんに碁が打たれました。また、上都賀支部の大会も

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ



Greenぐらす

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ

今年、三月にGreenぐらす二十周年記念コンサートを開催しました。

準備期間は約一年間。歌の練習の間全員でコンサートの役割を持って、知恵を出し合い小物を作るなどしていると、約一年の準備期間はあっという間の事で、当日を迎えました。

本番当日全員緊張：その時、私達の緊張をやさしくほ



手を動かし、頭を使い、お喋りをしたり、時には美味しいものを食べ

ています。今では、先生は亡くなってしまいましたが、今まで培ってきたスキルを活かして教えあったり、ユニチューブの着物リメイクの画像を参考にしたリして、素敵な物を制作しています。

現、図書館の東奥にある舞台でファッションショーをした事もありました。

私たちのハンドメイドサークルは十五年ほど前、公民館の講座が始まりました。プロの先生にお願いして、作品作りを始めました。

ハンドメイド



階です)

絵は誰でも描ける
絵はだれでも描けると言うと思わず反論があります。それでも私は言い続けています。だれでも描けます。心
上手か下手かの違いはあります。心

墨彩会



今年、気象不順の季節の中で、四季の風景豊かな移り変わりの作品を撮りためました。
一年間の結果の発表の場として、この西方文化祭に焦点を合わせ、風景画に感動を受けていただきたく記録画像を展示しました。

今回も一人三点提出、地域周辺の鳥、花、風景や美人モデル撮影会での一品の力作を展示しました。

また、会員を募集しております。皆さんも好きな事、夢中になれる物は、生きる力になると思います。趣味を一つだけではなく複数持ち、多数の部会に入ること、友達と多くの会話をし、毎日生き生きと過ごせます。是非フォトクラブへの入会を待っています。よろしくね。

フォトクラブ

たり、楽しく続けています。

今年も温暖とはいえないものの、いよいよ朝夕の寒さを感じる季節となりました。
我が社中の茶室は、湯の煮える音とその蒸気が室内の寒さと相まって、なんとも心地よい場所となっております。
炭と一緒に焚かれる香のかおり

若菜会



で感じたことをいかに表現するかに尽きるのです。しかし思うようになかなか描きません。下手でもいいのです。自然や描こうとする対象が教えてくれることに耳を傾けて、自分の作品から良いところをたくさん発見しながら、自然・動物・花などを楽しく描いてみませんか。見える風景に振りまわされないで、心ひかれたことを表現してみてください。

私達の墨彩会では、水墨画・焼絵・鉛筆画を楽しんでいます。趣味として自分の新しい一面を発見して会員との交流によって、楽しい輪が広がることを期待いたします。みんな描こう。



この楽しさを、一人でも多くの皆さんに伝えたく、文化祭にて小さな茶席を設けております。

その場の空気、書、花、器や道具などの全てに神経を集中させ、最大限に愉しむ。私なりの茶道の楽しみ方である。

が、非日常の空間へいざなう。そして、床の間にはお軸。禅語が掲げられている。今日は「日々是好日」だ。「晴れの日も、雨の日も、楽しい日も辛い日も、境遇や感情に翻弄されることなく、一日一日を大切に過ごす。」という教えがある。日々の自分を見つめ直す、よい時間だ。お軸の手前には、季節の花。近年の猛暑を乗り切ってきた花たちは、少し元気なと思うが、自然の姿そのままを愛でるのも、またよい。

さて、今日はどんなしつらえでお稽古をさせていただけるのか。お菓子も無論、楽しみだ。

今年も西方中プラスバンド部の皆さんが、文化祭に参加してくださいました。爽やかで、そして息の合った素敵な演奏に、会場の皆さんが引き込まれていました。文化祭を大いに盛り上げる素晴らしい演奏でした。

西方中プラスバンド部



文化協会会員の皆さんは、楽しく仲良く活動していますので、興味がある方は是非、公民館へご連絡をいただければと思います。心よりお待ちしております。

りました。小中学生の作品は、西方小五十六点、真名子小八十点、西方中六十点、計百九十六点が花を添えてくれました。各専門部では、地域市民に芸術文化の活動成果を観覧していただくよう、制作意欲の向上に努めました。今後も会の発展のために、全員が一丸となって活動することとおして、一人一人が心豊かな文化人として成長し、魅力ある人生を送ってけると素晴らしいです。

文化協会の皆さんは、楽しく仲良く活動していますので、興味がある方は是非、公民館へご連絡をいただければと思います。心よりお待ちしております。

令和六年度の文化祭は、十一月二十三日(土)、二十四日(日)の二日間、爽やかな秋晴れのもと盛大に開催され、好評を博しました。
展示部門では、墨彩会、フォトクラブ、ハンドメイド、囲碁部、茶道部・若菜会、西方城の六部門と、小中学生の作品及び公民館の展示があ

展示部門

早乙女 壽夫



西方城説明



抽選会の様子

充実し、工夫が見られて楽しい。願わくは、発表団体が一つでも多くなること、また団員が一人でも増えていくことを祈るばかりだ。時間があつという間に過ぎていく。発表のシメは西方ふるさと太鼓の重厚な響きを堪能した。さらに、今年の企画として「お楽しみ抽選会」と「ソング&ソング絆」が設定された。ささやかだが賞品もついて、みんなでなごやかに楽しいひと時を過ごすことができたのではないかと思います。



記念公演

落語鑑賞会 十一月二十四日(日)

荒川 里子

令和六年九月二十八日、大川秀子栃木市長より「栃木市ふるさと大使」に委嘱された落語家三代目「古今亭志ん丸師匠」をお迎えし落語鑑賞会を開催。出陣子「四季の山姥」で高座へ。落語家独特の語り、はぎれの良さ、声のトーンで話を盛り上げる。『わざ』。皆さん身を乗り出すほど志ん丸さんの落語の世界へ引き込まれた。特に、お酒を飲む様では口の動き、飲むときの『のど』の音を聞いていると本当にお酒を飲んでいるような飲みぶりには感服した。

ステージ部門

川島 博

ドラムの響きが心地よい西方ブラバンドの演奏に触発されるかのようステージ部門の発表が始まった。程なくして「西方城について」のお話が展開。西方文化財愛護ボランティア代表の中村良一さんによるソフトな語り口に、いつの間にか引き込まれる。

この機に、一人でも多くの方に国指定の西方城に足を運んでもらいたいものだ。ステージで展開される発表は年々